

企業等で障害のある人の労務管理、現場管理等を行う担当者様を対象に、定着支援における課題解決のための考え方や具体的対応策についての研修会です。

講師企業名 株式会社ユニスマイル ワークステーション静岡
講師名 ワークステーション静岡 所長 鈴木 英輔 氏
ワークステーション静岡 ヘッドディレクター 望月 麻未 氏

企業概要 法人設立 1993年2月
ワークステーション静岡所在地 静岡市葵区栄町3-1
25都道府県で保険薬局事業を中心に展開
従業員数29人(会社全体2215人)(常用雇用労働者数)
障害者雇用数・ワークステーション静岡勤務26人

研修 テーマ 働く障害をもつ人から 障害と向き合って働くということ

2.障害がある人の働きやすい環境作りの工夫や配慮

当社採用基準例(社員に求めること)として、自己管理、自立、Enjoy & Challenge、協調性の4つを人材へ求める基準を統一し、採用担当が共有しています。
実習期間を設け、問題点・課題を顕在化させ対策を想定します。また、過剰に配慮し過ぎないこと、実際の勤務で起きる負荷を再現し適応性や対策を検証しています。
また、実習中の様子を数値化することで、感覚や印象で判断せず、複数名の支援関係者で共有できるように、評価項目を設定し、一貫性のある評価、判定を行っています。

【定着支援対策事例】

- ①不調社員の原因を把握するため、各担当業務の本人体感負荷を数値化することでデータ収集を実施し具体的な負担原因を解消
- ②複数名が関わる発送作業では、複数名が混乱、疲労してしまう課題が生じたため、作業手順や内容等について作業前ミーティングを行うことでトラブルを解消し、且つ社員自身が工程を理解し人材育成にも発展
- ③環境不適応がネックとなる社員には在宅勤務を導入(障害者社員27名の内17名が在宅勤務)

3.障害のある人の雇用についての想いや感じていること

社員自身が障害や病気を前向きに理解し、やりがいと自信をもって必要とされる喜びを感じられることを理念として、ワークステーション静岡を開設しました。主に精神発達障害がある社員が中核となり、得意分野で力を発揮できるパワーセンターとして機能しています。
社内各部門から困りごとが依頼として寄せられ、デザイン制作分野、事務業務分野で欠かせない戦力となっています。

【研修時のスライド抜粋】

9 業務量確保問題への対策

ワークステーション静岡の部門設立

「コンセプト・理念」
障害や病気を抱える社員の得意分野、長所を生かして会社や社会にとっての価値を創出していくこと
社員自身がやりがいと自信をもって、必要とされる喜びを感じられること

■専任支援員がジョブコーチとして、一人ひとりの社員をサポート

■障害はあるが、得意分野を持つ社員が、部門に集まることで、会社の戦力となる(個人だけの力では力不足でも、複数名で担うことで弱点を補う)

主に精神発達障害がある社員を一部門で集約配属
障害者社員が力を発揮できる「パワーセンター」として機能させる

株式会社ユニスマイル 無断複製・配布禁止 16

9 必要とされる部門として

社内各部門からの困りごとを集め、業務創出に成功

【事務チーム】⇒各部門の人事支援に対応
① 電子化業務、各種サポート業務
② 印刷、作業業務(各種印刷と中継し製本)
③ 各種報告書作成

【デザインチーム】⇒デザイナーを起用し、クリエイティブサービス提供開始

◆デザイナー
・ポスター、図説、図解、動画制作 他

◆ディレクター ⇒デザイナーを起用し業務創出
・制作データ整理・データ校正・各種調査と資料作成

株式会社ユニスマイル 無断複製・配布禁止 18

参考：業務形成ステップ

第1段階
■仕事がない
■人手が不足(小規模)
■初期戦力で可能なこと

第2段階
■サービス提案
■小規模テスト
■社内需要調査
■可能な社内サービス提案

第3段階
■受注体制確立
■社内需要対応
■新サービス提案
(次の仕掛け)

障害者雇用推進

私たちの力を、誰かのために。
This Ability For

株式会社ユニスマイル 無断複製・配布禁止 17

9 障害と向き合って進む道

応援 → 変化 → 成長
STEP UP

応援
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)

変化
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)

成長
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)
(障害を克服し、活躍の場を確保)

UNISMILE 19